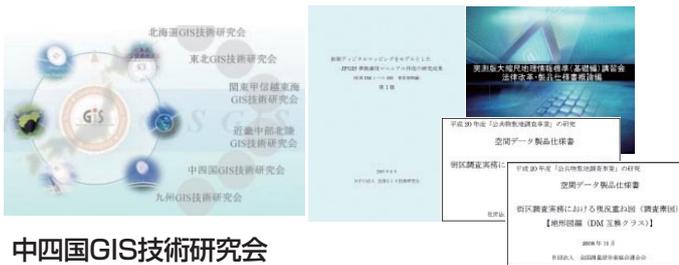


特定非営利活動法人全国GIS技術研究会 中四国GIS 技術研究会 地理空間技術等の普及活動について

全国GIS技術研究会

私たち研究会はNPO法人全国GIS技術研究会（北海道・東北・関東甲信越東海・近畿中部北陸・中四国・九州の6ブロックで構成）に所属しており、GISに関する様々な調査・研究及び、普及促進のための技術発表や研究教育、講習会開催などを行っています。近年では地理情報標準・電子国土等の技術利用に精力的に取り組んでいます。



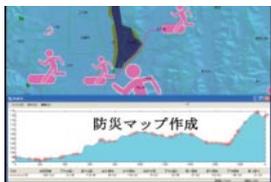
中四国GIS技術研究会

平成10年に設立され、今年で13年になる地元根差した測量・設計・建設コンサルタント・GISのエキスパート集団です。中国、四国地区に拠点を置く15社で構成され、上下水道GIS、固定資産GIS、統合型GIS等のデータベースやシステムの構築を主な業務としており、各種様々なご要望に取り組んでいます。

また車載カメラを利用したモバイルマッピング、GPS技術、レーザースキャナ、アセットマネジメント等、高度な測量、調査技術に精通しており、測量、土木設計からGIS構築まで、地元自治体のお手伝いをさせていただいております。

自治体実務者向け「GIS構築講座」

GISに関する技術普及促進活動の一環として11月22日（火）岡山県津山市において、自治体の実務担当者向けに「GIS構築講座」を開催しました。ご参加いただいた自治体の実務担当者の方々が各1台のパソコンを使用し、各種ツールやデータベースの操作を通じて、実際のGIS構築を体験していただきました。この講座では、GISを身近に感じ、実務で利用していただく事をテーマとしました。GISはシステムとデータを有効に活用することで、防災活動や災害復旧に大きな威力を発揮します。今回は研究会会員が講師を務め、国土院が作成している基盤地図情報を利用した「津山防災マップ」の作成を課題として進め、ツールの基本操作から設定方法、データのダウンロードや基盤地図情報の取り込み方、各種統計データの登録方法などを熱心に学習されていました。また、普段の業務で利用しているエクセルデータと地図をリンクさせることで避難場所マップを作成したり、ネットワーク計算や最短距離の計算により避難所から避難所への最短経路を求めるなど、防災



に役立つ具体的な技術についても学んでいただきました。

「地理空間情報活用促進セミナー」

私たち研究会は、地理空間活用推進セミナーを毎年開催しており、GISに関する技術普及、促進活動、また、個人情報保護の活動にも積極的に取り組んでいます。今年度、中四国地区では、前述の自治体実務者向け講座と併設で、「地理空間活用促進セミナーin津山」を開催しました。

ここ岡山県津山市は、GISに積極的に取り組まれており、今回参加された自治体職員の方にもGIS上級技術者がおられ、GISに関する情報や技術が特に浸透した地域です。

セミナーの基調講演では、奈良大学碓井先生に「東日本大震災におけるGIS活用と地方自治体のGIS」という題目でご講演をいただきました。大規模災害時に必要なことは、非常時でも迅速な対応ができる自治体のGISへの理解と技術習得の推進、GIS技術を持った地元企業の育成が非常に重要であり、また災害前のデータを整理しておくことで災害後との比較ができ、迅速な罹災証明業務が可能になる、とのお話でした。また、全国GIS技術研究会メンバーの東北GIS技術研究会が、震災時にGISをフル活用して下水道の復旧調査に成果を上げたことも、事例としてお話しされました。



地元自治体からは、岡山市環境局産業廃棄物対策課の後藤様より「GISを用いた不法投棄等に係る情報管理」として、住民からの苦情の対応やパトロール結果の登録管理、GISデータを活用しながら運用している事例が紹介されました。

最後に研究会会員から、「GISをより身近に」というテーマで「下水道台帳管理システム」「モバイルマッピングシステム」の紹介をさせていただきました。

GISを利用した自治体業務や事務処理の効率化、行政支援など、GISに関することは、コンサルタントの集団であるNPO法人全国GIS技術研究会、ならびに中四国GIS技術研究会がお手伝いさせていただきます。是非ご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



お問い合わせ
 関東甲信越東海GIS技術研究会 災害対策本部
<http://www.kanto-gis.jp/saigai/index.html>